

— 日本の設計者のために —

IJCAD : 2022

IntelliJapan

開発元：インテリジャパン株式会社

SystemMetrix

総販売元：システムメトリックス株式会社

〒460-0002 名古屋市中区丸の内 1-15-20
ie 丸の内ビルディング 11 階

名古屋 TEL.052-219-8831

東京 TEL.03-3537-3282

神戸 TEL.078-599-8425

[受付時間] 平日 9:30-17:00 (土日祝日休み)

※商品名等は商標または登録商標です。記載内容は予告なく変更されることがあります。



IntelliJapan



CONTENTS

商品紹介

IJCADについて	03
標準機能について	05
変換機能について	07
拡張ツール・PLUSツールについて	09
PROについて	11
<hr/>	
ライセンス形態	12
仕様比較表／動作環境	13
価格・導入の流れ	14





商品紹介

IJCAD : 2022

Point 01

リーズナブルな
価格

Point 02

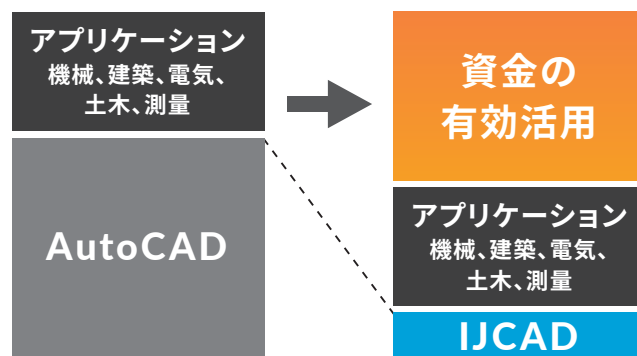
AutoCAD
との高い互換性

Point 03

従来の互換CADには
ない上質で快適な
操作性

Point 01 リーズナブルな価格

既に2次元CADのテクノロジーは成熟しており、新しい技術革新はほとんどありません。互換CADメーカーが継続して開発を行っていけば、純正品と同レベルの品質・性能に到達するのも時間の問題でした。低価格であっても、このIJCADは、AutoCADの補完的な利用ではなく、主力CADとしての実力を既に十二分に備えています。是非、お試しください。

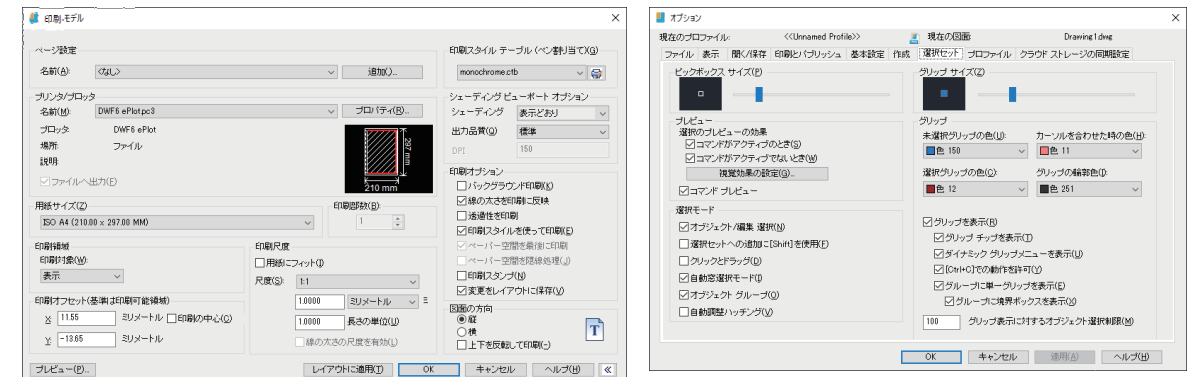


Point 02 AutoCADと抜群の互換性

IJCADは、AutoCADユーザーが戸惑うことなく利用できるよう各種コマンド・ダイアログデザインの雰囲気をAutoCADに似せて作られています。そのため、他の互換CADにありがちな「コマンドが見つからない」「設定がわからない」という戸惑いは、ほとんどありません。AutoCADユーザーであれば、移行のためのトレーニングなしに直ぐにご利用いただけます。

設定ダイアログ

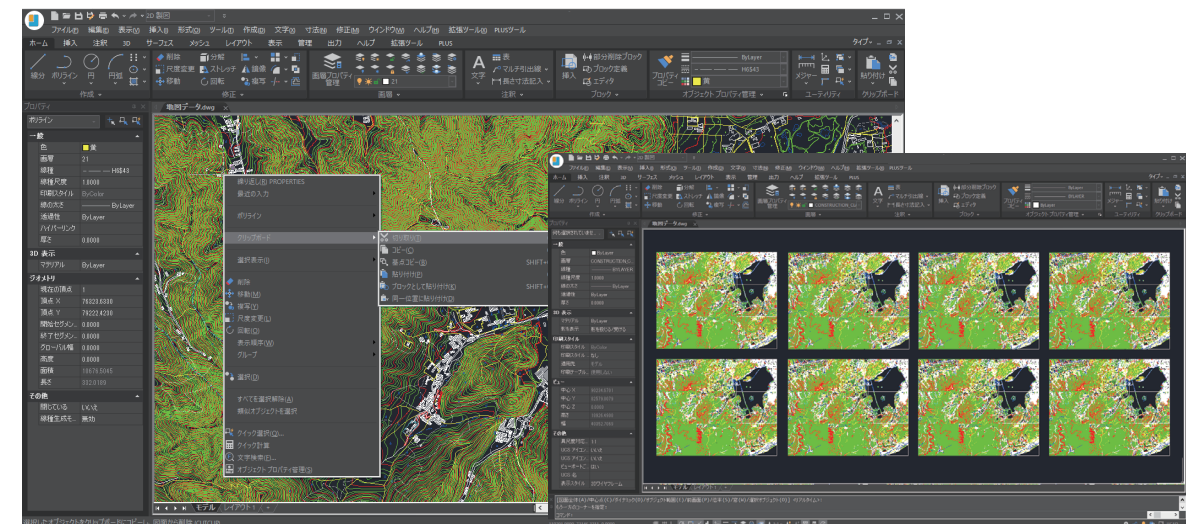
他の互換CADでは苦勞することが多い印刷設定等も、AutoCADの雰囲気と似ていて直観的に利用できます。



Point 03 絶え間ない性能改善

高速で直観的な操作性と、使いやすい洗練されたユーザーインターフェース

各コマンドの処理性能は、操作性に大きく影響します。そのため、インテリジャパンでは絶え間ないプログラムの性能改善を行っています。その結果、数年前のバージョンと比べて大幅なスピードアップを実現しています。今後も性能改善は、開発の重要テーマとして認識して取り組んでまいります。右の画像は、70MBの地図データをも8面複写したものの(560MB)です。このデータでも、64ビット対応により作図・編集が可能となりました。

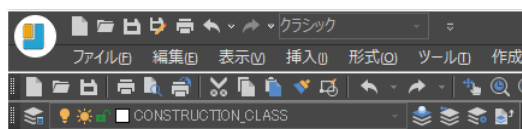
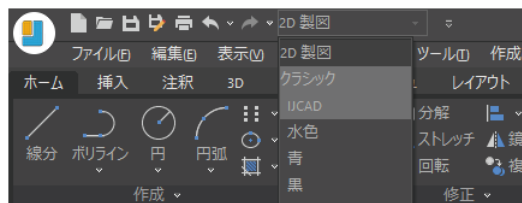


標準機能について

IJCAD のすべてのグレードでお使いいただける機能をご紹介します。日々の業務の中で、より便利にご利用いただける機能をご用意しております。

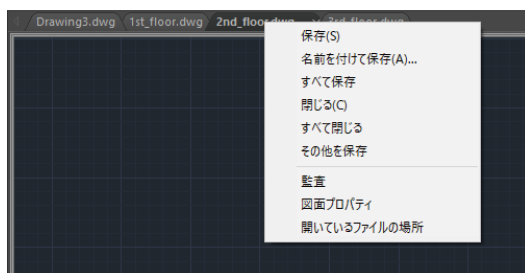


リボンUIとスタイル



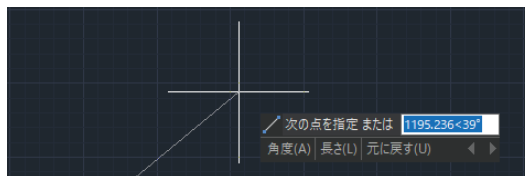
リボンUIと従来のメニューUI(クラシカルインターフェイス)をサポートして、ボタン一つで簡単に切り替えることができます。また、ウィンドウの印象を変えるインターフェイスのスタイルも切り替えることが可能です。

ファイルタブ



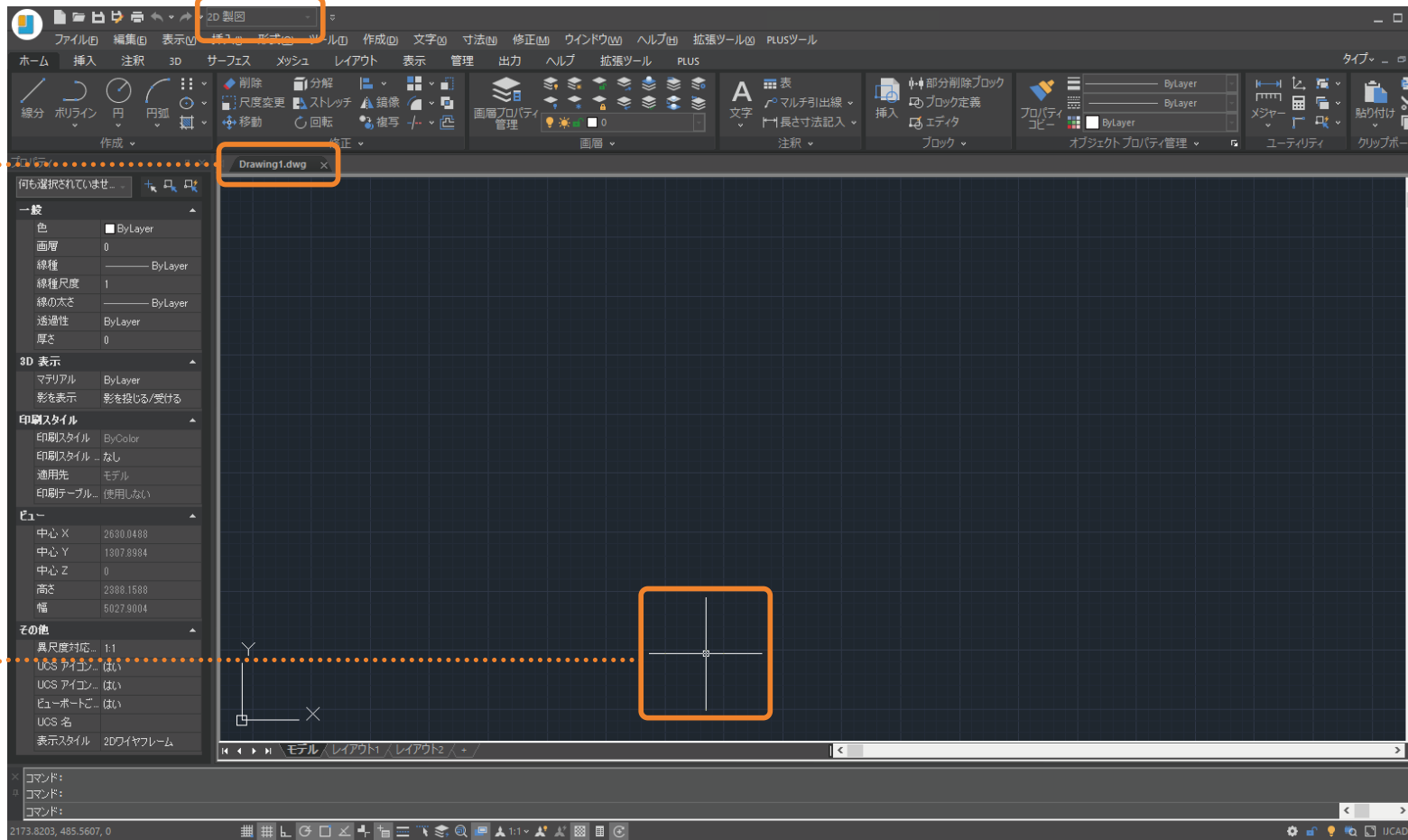
開いているファイルをタブ表示する機能をサポート。複数ファイルの切り替えもワンクリックで行うことができます。

ダイナミック入力

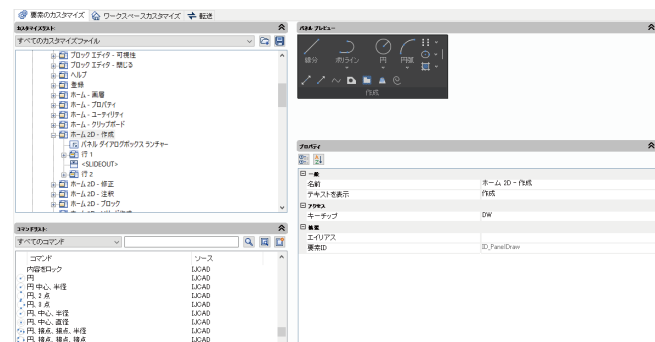


AutoCADライクなダイナミック入力に対応しています。コマンドでのオプション選択や距離、角度の入力が可能です。

メイン画面



コマンドのカスタマイズにも対応



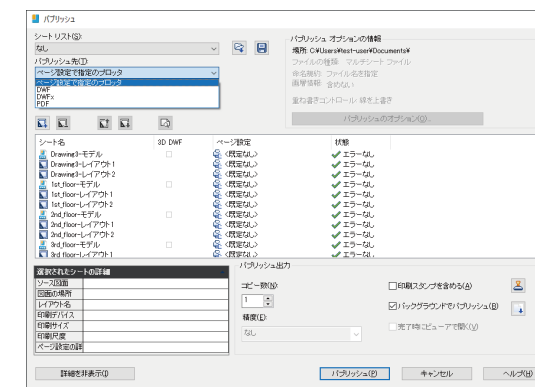
リボンメニューの追加・編集、ツールバーの追加・編集、カスタマイズコマンドの登録も可能です。

ツールパレット



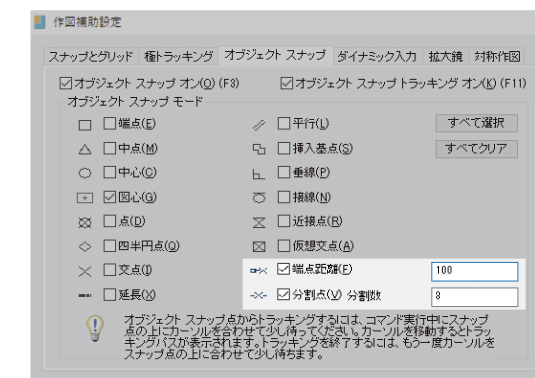
よく使うブロックやコマンドなどを配置しておき利用することができます。

パブリッシュ(連続出力)



パブリッシュ機能を標準搭載しています。ファイル内のモデル・レイアウトだけでなく、複数のファイルから任意のモデル・レイアウトをDWFやプリンタへ一括で出力することが可能です。

オブジェクトスナップのオプション



オブジェクトスナップに、IJCAD独自のオプションが追加されました。端点からの距離またはオブジェクトの分割数を指定してスナップさせることができます。

変換機能について

日本でご要望の多い形式のデータ変換メニューをご用意しました。DWG/DXF 以外の形式で受け取ったファイルも、読み書き可能になり、データ変換にかかる時間を大幅に削減でき、効率化が見込めます。



PDF変換機能

STD PRO

PDF読み込み

ページ指定
 すべて 1
 ページ指定
 1,3,6のようにページ番号をカンマで区切って指定するか、4-8のようにページ範囲を指定してください。

配置順序
 横 10 列
 縦 10 段

円、円弧変換
 変換 許容角度 5.00
 矢印塗りつぶし
 図枠作成
 テキスト結合
 重複テキスト削除

OK キャンセル

JWW変換機能

STD PRO

図面読み込み

図形の寸法
 実寸にすべし(レイヤグループの倍率を使用)(G)
 用紙の大きさにする(B)
 指定の倍率(H) 1 / 100

レイヤ
 必要なレイヤのみ作成(L)
 256レイヤ全て作成(A)
 レイヤ番号が重複する層を作成しない(D)

文字
 テキストを生成
 高さの係数(G) 1
 マルチテキストの幅を合わせる(D)
 テキストの位置合わせ(A) フォントを使用

OK キャンセル 適用(A)

図面書き出し

テンプレート図面

用紙指定
 サイズ A4
 レイアウト LMMINE使用

色
 SXF色を優先使用する(D)

レイヤ
 フォント層層を出力する(E)

ブロック
 ByBlockを使ったブロックを見たと再定義する(D)

イメージ
 ビットマップ圧縮を有効にする(D)
 ビットマップ以外を出力する(D)
 拡張データの文字サイズを無視(D)
 高さの係数を使用(D)

OK キャンセル 適用(A)

設定ダイアログ

Jw_cadで作成されたJWW/JWCフォーマットの図面の読み込みができます。また、IJCADで作成した図面をJWW形式で書き出すこともできます。充実したオプションで、読み込み/書き出しの設定をカスタマイズでき、Jw_cadライクな画層管理機能も搭載しています。

Sample.dwg

JOB NAME: サンプル図
 LOCATION:
 DRAWN BY:
 CHECKED BY:
 SCALE: 1/80=1
 DATE: 7-23-97
 JOB NUMBER:
 SHEET 1 OF 1

取引先とのデータのやりとりで、従来のDWG/DXFに加えPDFフォーマットの利用が増えています。STDとPROグレードに搭載されているPDF変換機能を利用すれば、PDF化されたCADデータを、CADデータに復元することができます。オプション設定ダイアログ(右上図)により、円・円弧の認識精度の設定やテキストの結合、重複テキストの削除など、CADデータとしてより再利用しやすいように変換精度の調整を行うことができます。

SXF変換機能

STD PRO

図面読み込み

SXF入力モード
 OCF準拠(寸法、文字、スプライン等の編集ができません)
 編集可能(一部の図形で見た目が異なります)
 編集設定(下記選択のみ編集可能となります)

編集設定
 各種寸法 文字 スプライン

誤差値
 SXF入力時に、次の値以下のときはゼロとみなします。
 長さ用誤差値: 0.001 角度用誤差値: 0.001

レイヤファイル作成
 レイヤ定義ファイルを作成
 レイヤファイル名:

ファイル出力 ファイル入力 初期化 OK キャンセル

図面書き出し

既定線種を、SXFの線種に対応付けます。

DWG	SXF
Continuous	実線,continuous
AM_ISO08W050	一点線,chain
AM_ISO02W050	一点短線, dashed dotted
AM_ISO09W050	一点二短線,long dashed dotted
Amconstr	二点短線,dashed triplicate-dotted
AM_ISO08W050x2	二点二短線,long dashed triplicate-dotted
AM_ISO02W050x2	実線,continuous
Amzigzag	折り返線,dashed spaced
BORDER	点線,dotted
BORDER2	二点線,chain double dash
BORDERX2	二点短線,dashed double-dotted
CENTER	二点長線,long dashed double-dotted
CENTER2	二点線,chain
CENTERX2	二点線,chain
DASHDOT	一点短線,dashed dotted

線種 0 のときのSXFでの線種 0.13

ファイル出力 ファイル入力 初期化 OK キャンセル

設定ダイアログ

SXF形式で作成された図面を読み込み、IJCAD上で編集後、SXF形式で書き出すことができます。従来、IJCAD Civilに実装されていたSXF変換が、IJCAD2018からIJCADのSTD以上のグレードでご利用いただけるようになりました。

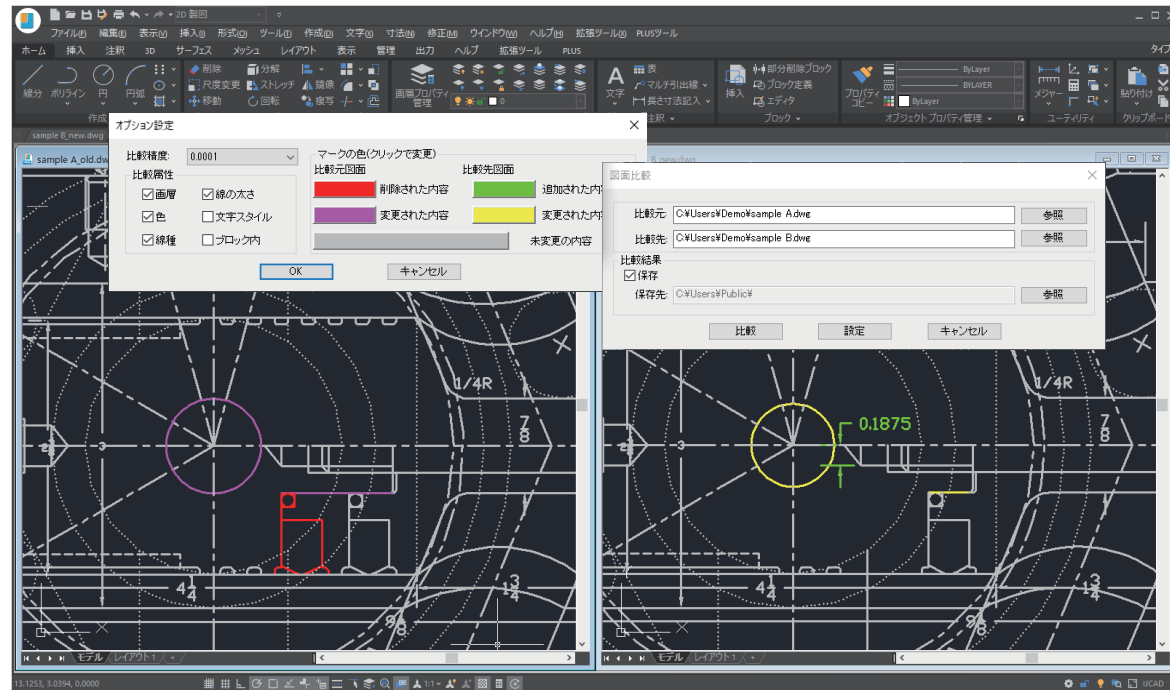


拡張ツール・PLUSツールについて

IJCAD の STD 以上のグレードには、AutoCAD の ExpressTools 相当のコマンドと、独自に開発された便利な PLUS コマンドが搭載されています。

図面比較機能

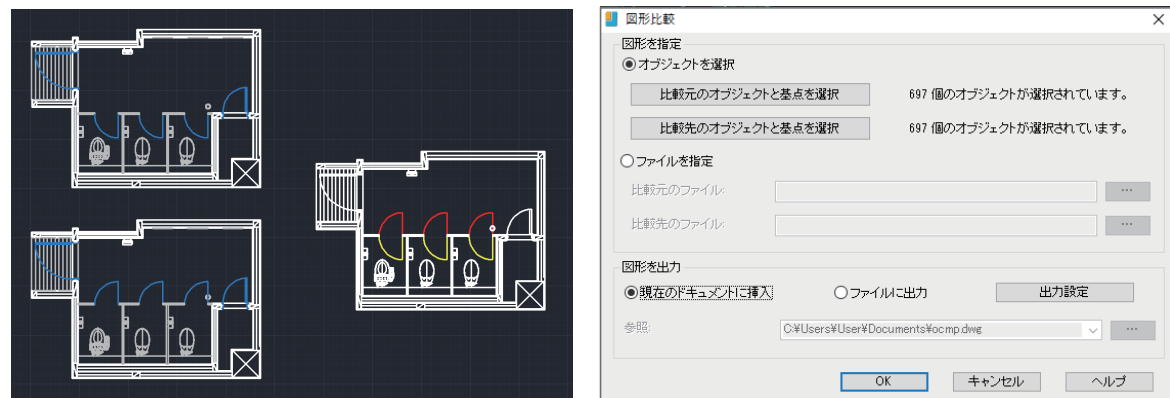
STD PRO



2つの図面の差異を比較する機能で、修正や削除等の箇所をその内容によって4種類の色で表示してくれます。既存図面を基に修正をかけた場合、原本とどこが変更となったのが色分けされて表現されます。

図形比較機能

STD PRO

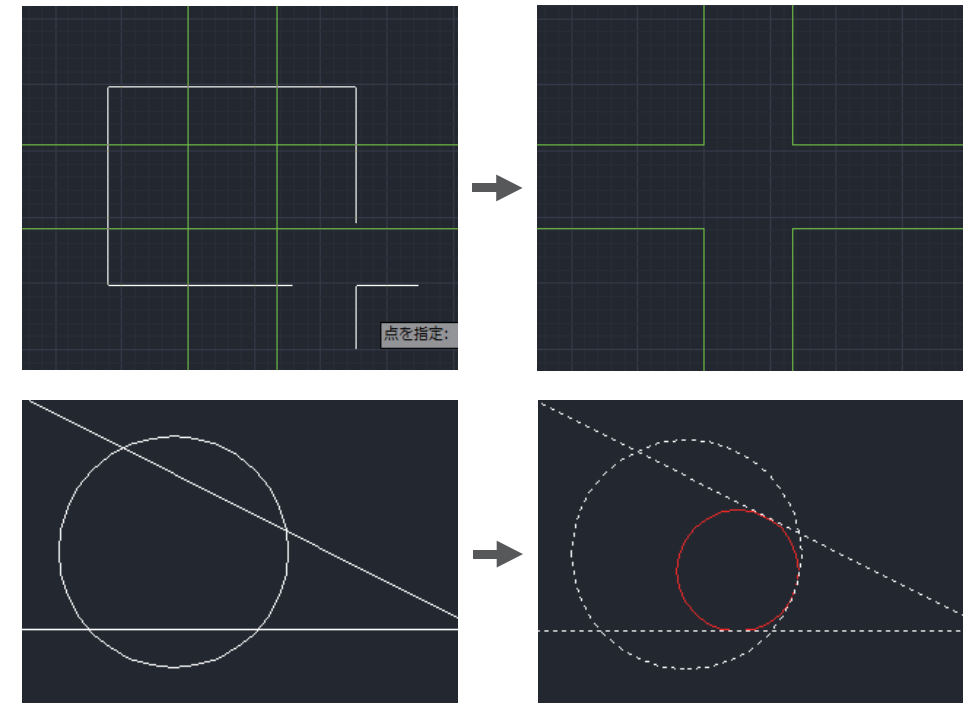


※左の2つの図の比較結果を、同じ図面の右にブロックとして挿入

図面内で選択した、2つの図形の差異を比較し、結果を同じ図面内に配置するか、新たな図面に出力します。

便利な拡張機能

STD PRO



包絡処理
1コマンドで適切な包絡の処理がされる。

3図形接円
クリップポイントにより他候補も表示される。

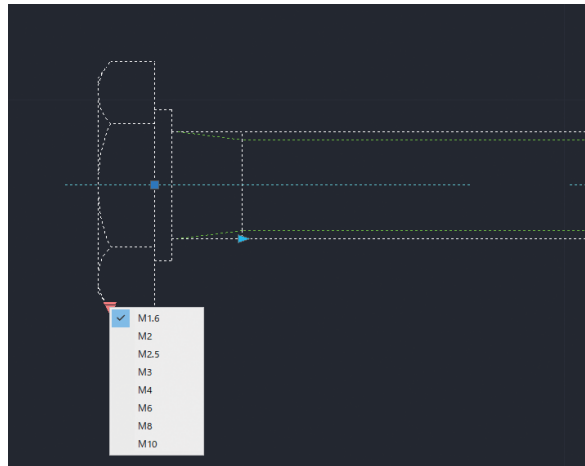
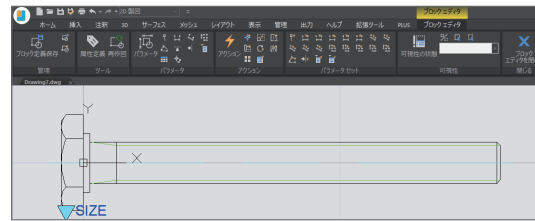
AutoCADのExpressTools相当のコマンドと、独自に開発された便利なPLUSコマンドが搭載されています。特に、包絡処理、3図形接円はよく利用されている機能です。

PROについて

IJCADのPROグレードでは、ダイナミックブロックと、簡単な3Dモデリング機能をサポートしております。

ダイナミックブロックをサポート

PRO

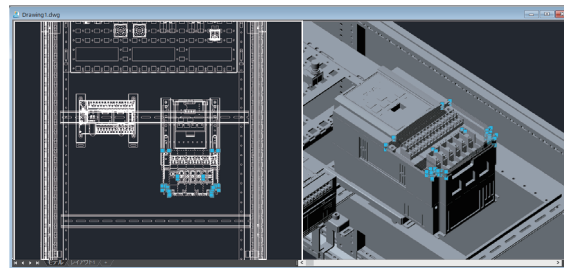


配置されたダイナミックブロックのグリッパ操作に対応しており、設定されたアクションを視覚的に操作できます。PROグレードには、ブロックエディタが搭載されているので、AutoCADで作成されたダイナミックブロックだけでなく、IJCADでも新たにダイナミックブロックを定義することができます。

3Dソリッドモデリング機能

PRO

IJCADは、簡易的なモデリング機能を搭載しています。



開発環境について

IJCADでは、いくつかのAPIを提供しています。

AutoCADで使用するために開発された多くのプログラムは、IJCADに移植することができます。

詳しくは「Q&Aコミュニティ Stack Overflow」をご参照ください。
<https://www.ijcad.jp/StackOverflow/>



グレードにより利用可能なAPIの種類							
API	IJCAD 2022			API	IJCAD 2022		
	LT	STD	PRO		LT	STD	PRO
DIESEL	○	○	○	VBA ※2	-	○	○
LISP	△※1	○	○	ARX(GRX)	-	○	○
LISP (VL関数)	-	○	○	TX	-	○	○
DCL	-	○	○	.NET ※3	-	○	○
COM	-	○	○	SDS	-	○	○

※1： コマンドラインやメニューマクロで利用可能。LISPプログラムファイルの読み込み不可 ※2： 32bit 版のみ ※3： IJCAD 2015 以降の製品

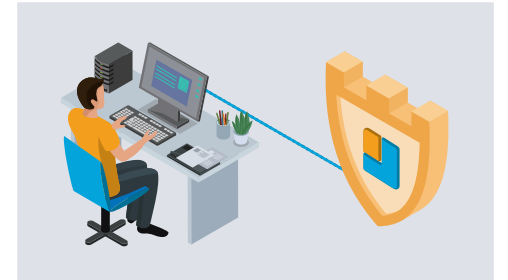
ライセンス形態

IJCADには3種類のライセンスがあります。お客様のご利用状況に合わせて、最適なものをお選びください。

Type 01

スタンドアロン

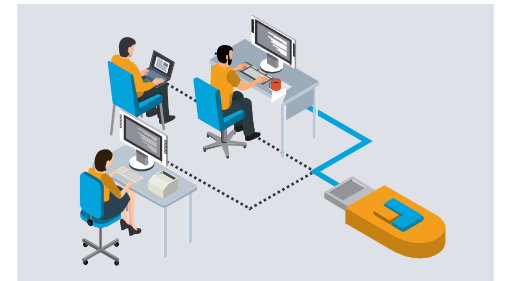
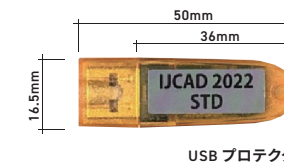
PC1台でのみ使用可能なライセンス。オンライン、またはメールによるアクティベーション。別PCで利用する場合は、ライセンス移動の手続きが必要です。



Type 02

USB

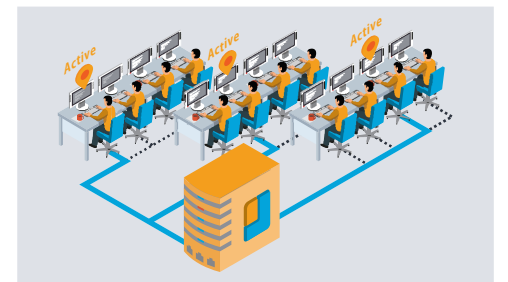
USBを挿したPCのみ使用可能。IJCAD起動時に、PCにUSBを挿して使用してください。(プログラムをインストールできるPCに上限はありません)



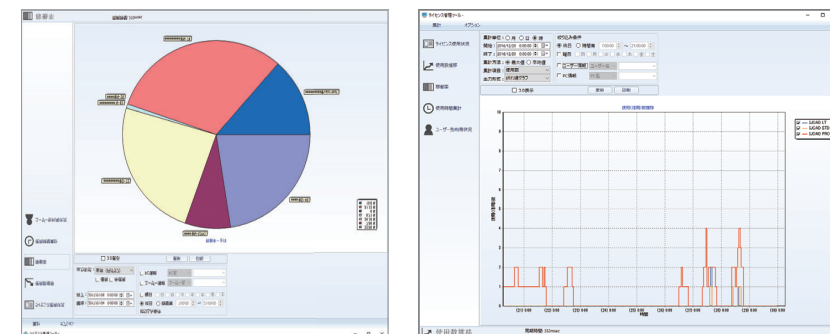
Type 03

ネットワーク

10台契約の場合、インストールできるPCに上限はなく、ネットワークを介して10台まで同時利用可能。サーバーにてアクティベーション、クライアントにて接続サーバーを指定。サーバーごとにライセンスマネージャーの保守契約が必要。購入は最低3ライセンス以上から可能です。



ログ管理ツール | ネットワーク版ユーザーには、ログ管理ツールが提供されます。



現在のIJCADの利用状況や利用数の推移、稼働率、ユーザー別の使用状況等がビジュアルで確認できます。このツールを利用すれば、必要ライセンス数をより正確に把握することができるため、効率よくライセンスの運用を行うことが可能です。

仕様比較表

仕様	IJCAD 2022			IJCAD 2021	AutoCAD	
	LT	STD	PRO	PRO	LT2022	2022
動作環境 / インターフェース						
Windows 7 対応	-	-	-	-	-	-
Windows 8.1 対応	○	○	○	○	○	○
Windows 10 対応	○	○	○	○	○	○
リボンインターフェース	○	○	○	○	○	○
クラシックインターフェース	○	○	○	○	-	-
UIスタイル切り替え	○	○	○	○	○	○
64bit対応	○	○	○	○	○	○
対応図面ファイル						
DWG形式 (R14~2018)	○	○	○	○	○	○
PDF 出力	○	○	○	○	○	○
PDF → CAD (or DXF) 変換	-	○	○	○	○	○
JWCADファイル読み・書き	-	○	○	○	-	-
CALS対応 (SXFサポート)	-	○	○	○	-	△
WMF読み込み	○	○	○	○	○	○
印刷						
印刷スタイル (.ctb/.stb) サポート	○	○	○	○	○	○
ページ設定対応	○	○	○	○	○	○
パブリッシュ (連続印刷)	○	○	○	○	○	○
PSLTSCALE の対応	○	○	○	○	○	○
主な機能						
透過性	○	○	○	△	○	○
表オブジェクト	△	△	△	△	○	○
オブジェクトプロパティ	○	○	○	○	○	○
多機能グループ	○	○	○	○	○	○
クイック選択	○	○	○	○	○	○
類似オブジェクトの選択	○	○	○	○	○	○
マルチ引線	○	○	○	○	○	○
ダイナミック入力	○	○	○	○	○	○
オートコンプリート	○	○	○	○	○	○
画層フィルタ	○	○	○	○	○	○
画層一覧表示	-	○	○	○	-	-
ExpressTool (拡張ツール)	-	○	○	○	-	○
Plusコマンド (拡張ツール)	-	○	○	○	-	-
図面比較	-	○	○	○	○	○
図形比較	-	○	○	○	-	-
外形線作成	-	○	○	○	-	-
選択の循環	○	○	○	○	○	○

仕様	IJCAD 2022			IJCAD 2021	AutoCAD	
	LT	STD	PRO	PRO	LT2022	2022
ファイル参照・ブロック						
ダイナミックブロックの作成	-	-	○	○	○	○
ダイナミックブロックの利用	○	○	○	○	○	○
PDF/DWFアンダーレイ	○	○	○	○	○	○
文字・寸法機能						
SHX フォント	○	○	○	○	○	○
マルチテキストエディタ対応	○	○	○	○	○	○
クイック寸法	○	○	○	○	○	○
異尺度対応	○	○	○	○	○	○
注釈尺度対応	○	○	○	○	○	○
3D						
ACIS(.sat)ファイル	-	-	○	○	-	○
リトグラフ(.stl)	-	-	○	○	-	○
ソリッドデータの表示	○	○	○	○	○	○
ソリッド図形の作成/モデリング	-	-	○	○	-	○
フラットショット	○	○	○	○	-	○
開発・カスタマイズ						
メニューマクロ (DIESEL)	○	○	○	○	○	○
CUI, CUIX, MNU, MNS	○	○	○	○	○	○
AutoLISP (.lsp/.fas/.vlx) & DCL	-	○	○	○	-	○
ObjectARX / xRX	-	○	○	○	-	○
.NET	-	○	○	○	-	○
SDS/ADS	-	○	○	○	-	○
VBA	-	△	△	△	-	△
ライセンス認証の種類						
ソフトウェア認証 (インターネット/メール)	○	○	○	○	○	○
ハードウェア認証 (USB)	○	○	○	○	-	-
ネットワークライセンス	○	○	○	○	○	○
ネットワークライセンスの機能						
ライセンスの貸出 (切離し) 機能	○	○	○	○	○	○
ライセンスのグループ分け	○	○	○	○	○	○
無操作時のタイムアウト時間の設定	○	○	○	○	○	○
サーバーの冗長性対応	○	○	○	○	○	○
ライセンス管理ツール	○	○	○	○	-	-

- 非サポート △ 部分または条件付きサポート



動作環境

CPU	Core i 5 以上を推奨	対応 OS	Windows 8.1 / Windows 10 ver.21H1 64bitOS推奨
RAM	最低動作環境: 4GB 推奨動作環境: 8GB 以上 ※ 図面データの容量によってはより高いRAM環境が必要になる場合があるため、64bit OS推奨		Windows 10 では自動アップデートの影響で IJCAD の動作に支障が出る可能性がありますのでご注意ください。(アップデートによる影響等は IJCAD ヘルプセンターに掲載します)
HDD (SSD)	550MB 以上	ライセンスサーバーの動作環境	ネットワークライセンスをご利用の場合 Windows Server 2012 R2 / Windows Server 2016 / Windows Server 2019
ディスプレイカード	推奨動作環境: 2GB GPU ※(Intel(R) HD Graphics 4000 などのオンボードグラフィックでの動作実績もあり)	その他	.NET Framework 4.8 がインストールされている環境 DVD-ROM ドライブ (※DVD からインストールを行う場合)

※仕様は予告なく変更されることがあります。

価格・導入の流れ

価格 (すべて税込)

IJCAD 2022	スタンドアロン版	USB版	ネットワーク版
永久ライセンス +メンテナンス・サブスクリプション (初年度)	LT ¥75,625	¥96,250	¥96,250
	STD ¥103,125	¥123,750	¥123,750
	PRO ¥137,500	¥165,000	¥165,000
メンテナンス・サブスクリプション (2年目以降/年)	LT ¥15,125/年	¥19,250/年	必須 ¥19,250/年
	STD ¥20,625/年	¥24,750/年	必須 ¥24,750/年
	PRO ¥27,500/年	¥33,000/年	必須 ¥33,000/年
ライセンスマネージャー・サブスクリプション (1サーバー毎)	¥110,000	ネットワーク版は、ライセンスマネージャーの保守契約が必須となります。また、ライセンスサーバー1台につき、ライセンスマネージャー・サブスクリプションが必須となります。	
インストールDVD	¥5,500	各商品にインストールDVDは付属しておりません。プログラムはIJCADサイトよりダウンロードとなります。インストールDVDが必要なお客様は別途インストールDVDをご購入ください。	

導入までの流れ

まずは、「体験版」をダウンロードしてお試しください。体験版は製品版と同じ機能が使えます。

Step 01 **体験版ダウンロード** | 体験版をインストールしていただいてから、30日間は無料でご利用になれます。

まずは操作感をお試しください

お手軽ダウンロード メールアドレスの登録だけでOK! 3分!

Step 02 **本製品の購入** | 製品の種類、ライセンス形態、グレードをご検討いただけます。

オンラインショップで簡単に購入できます

決済後、翌営業日に発送・発行 詳しくはIJCADのホームページをご確認ください。

ご不明点やご相談はお気軽に IJCAD 営業担当までご連絡ください

名古屋 TEL.052-219-8831 **東京** TEL.03-3537-3282 **神戸** TEL.078-599-8425

Step 03 **導入** | サポートやメンテナンス、バージョンアップなどについては、営業担当までご相談ください。

詳しくは「IJCAD ヘルプセンター」をご参照ください。 IJCAD ヘルプセンター

